一、尚職工指導教育施行上其ノ趣旨ノ徹底ニ今一層有
効ナル具体的方策アリタシ、

人事、

一、病気解傭者ニシテ全快セルモノハ解傭後一定期間ヲ限リ
再ビ採用相成度件
理由、従業十五週日以上勤続シ尚全治セズ止ムヲ得ズ解傭セ
ラルル者ニシテ其ノ後病気全快セルモ現今ノ如ク絶対新募集
ナキ時ハ将来工場ニ於ケル特殊技能者就中ノ失業
者ノ救済ハ勿論必然的ニ生活ヲ脅サルルモノアリ此ノ要望ハ一般
募集ノ無キ時ニ解傭後一定期間ヲ限リ従事セシムル様
致サレ度

二、一ケ年二回ノ停年満期者解傭ヲ年一回(十二月)ニ改正セラレタ
キ件、
理由、停年満期者ニ対シ如何ナル特殊ノ事情アリテ六月退職
者ト十二月退職者トヲ比較シテ見ルト十二月退職者ハ賞与勤続
加給ガ貰ヘルガ六月ノ退職者ハ貰ヘナイ現在ノ如ク新制
規ニ依リ退職ノ際何等ノ手当モ議セラレナイ現
制度ニ於テハセメテ六月ノ者モ十二月迄延シテ勤続加給ヲ受ケ
ラルル様取扱ヲ切望ス、

ロ、年齢満期者ハ十二月一回ニセラレ度件、
理由、年齢満期ハ現制度ニ於テハ六月及十二月ト年二回
ニ区分セラルル為メ六月解傭者中従業日数ノ差ニヨリ
十二月迄勤続シタル者ハ数十名勤続シテモ
勤続加給ヲ受ケル事ガ出来ナイ状況ニ在ル為今満期ハ十二
月末一回トシ勤続加給ヲ受ケル様考慮ヲ希望ス、

財團法人協調會